

学校法人 了徳寺学園 柔道部新聞

60kg級の志々目徹が初優勝を飾る！

4月2・3日に各階級選抜された8名のみによる日本最高峰の戦いが福岡国際センターにて開催され、試合に先駆けて行われた開会式では73kg級の秋本啓之が選手宣誓を行いました。

この大会は8月6～12日にブラジル・リオデジャネイロで開催されるオリンピックの最終選考会であり、了徳寺学園より男子3名、女子5名の計8名が出場し、日本代表の座をかけて厳しい戦いに臨みました。結果は優勝者1名、準優勝者2名、3位3名となり、志々目徹が初優勝を飾るものの、強化委員会での選考では補欠にとどまり、残念ながらオリンピックに選手を送りだすことはかないませんでした。応援いただいている皆様の期待に応えることができず、本当に申し訳ございませんでした。

この悔しさを来年の世界の舞台ではらすべく、これからの1つ1つの大会でしっかりと結果につなげられるよう、頑張っていきたいと思えます。



【結果詳細】

100kg級 阪本 健介 : 初戦敗退

新入職の阪本（東海大学出身）は初戦、講道館杯で不覚を取った下和田（京葉ガス）と対戦します。序盤お互い技を出しあう中、相手の大外巻込で技有を先制されます。その後、挽回せんと攻め込み、指導を返しますが届かず、初の選抜体重別挑戦は悔しい結果となりました。

今年に入って膝の手術を行い、何とか間に合わせて臨みましたが、一歩及びませんでした。しかし、この悔しさを糧に今後しっかりと稽古を積み、大きな目標に向かって努力して欲しいと思えます。



1 回戦

阪本 健介

優勢負（大外巻込・技有）

○

下和田（京葉ガス）

63kg級 西川 真帆 : 3位

西川は初戦、鍋倉(三井住友海上)と対戦し、自分の組手になったところで相手に掛け逃げの指導が与えられます。その後、頭が下がった相手に2度目の指導が与えられ、初戦を突破します。準決勝は津金(筑波大)と対戦し、釣手を絞られて自分の形になれず、先に指導を受ける形となります。その後も、何とか打開しようと試みますが、相手のペースを崩すまでには至らず、逆に指導を受け、昨年同様3位にとどまりました。

GS 東京前に痛めた膝の回復に時間がかかり、思うような稽古が積めない中で迎えた試合でしたが、準決勝の壁を超えることができませんでした。次こそ、頂点を狙うべく、稽古を積ませたいと思います。



| | | | | | |
|-----|-------|---|------------|---|-------------|
| 1回戦 | 西川 真帆 | ○ | 優勢勝 (指導 2) | | 鍋倉 (三井住友海上) |
| 準決勝 | 〃 | | 優勢負 (指導 2) | ○ | 津金 (筑波大学) |



70kg級 ヌンイラ 華蓮 : 3位

ヌンイラは、初戦、昨年のこの大会で不覚を取った池(国土館大)と対戦し、序盤から組み勝って相手に指導が与えられます。その後、大外から巻き込んで有効を奪い、そのまま押し切って去年の雪辱を果たします。迎えた準決勝は田知本(ALOSK)と対戦します。この試合でも序盤自分の形になり、よいペースで進みます。しかし相手の逆の一本背負投にはまってしまい、決勝進出はなりません。

指の手術をし、復帰戦となったヌンイラですが、この日も初戦で逆の指を脱臼するというアクシデントに見舞われ、優勝には届きませんでした。しっかりと怪我を治し、次の試合に向けて準備させたいと思います。

| | | | | | |
|-----|---------|---|---------------|---|-------------|
| 1回戦 | ヌンイラ 華蓮 | ○ | 優勢勝 (有効・大外巻込) | | 池 (国土館大学) |
| 準決勝 | 〃 | | 一本負 (一本背負投) | ○ | 田知本 (ALOSK) |



78kg級 緒方 亜香里 : 2位

緒方は初戦、高山(三井住友海上)と対戦し、中盤に場外際での攻防で場外指導を受けます。その後、組み合わない相手に指導が与えられ、勝負はGSに突入します。総力戦となった試合は、最後、相手に掛け逃げの指導が与えられ、準決勝に進みます。準決勝では、世界チャンピオンの梅木(環太平洋大)と対戦します。この試合でも緒方が組み勝って、相手に指導が与えられ、終盤、大外刈で大きく崩しますが、ポイントには至らず、そのまま指導差で押し切って決勝に駒を進めました。決勝は、佐藤(コマツ)と対戦し、お互い気合十分で組み合う中、出足払にうまくあわされ、優勝にはあと一步届きませんでした。

膝の不安もなくなり、全般的に組手ではペースをつかむことができていたので、あとは普段の稽古で出せている攻めを試合でも十分にだしていけるよう取り組ませたいと思います。

| | | | | | |
|-----|--------|---|------------|---|-------------|
| 1回戦 | 緒方 亜香里 | ○ | 優勢勝 (GS有効) | | 高山 (三井住友海上) |
| 準決勝 | 〃 | ○ | 優勢勝 (指導1) | | 梅木 (環太平洋大学) |
| 決勝 | 〃 | | 一本負 (出足払) | ○ | 佐藤 (コマツ) |

60kg級 志々目 徹 : 優勝

初戦、田中(筑波大)と対戦し、お互い決め手に欠けてGSの延長戦に突入した試合は、志々目が大外刈で有効を奪い、初戦を突破します。準決勝は永山(東海大)と対戦し、指導を奪い、決勝に進出しました。決勝では準決勝で高藤(パーク24)に完勝した大島(国士舘大)との対戦となりました。この試合も接戦になりましたが、志々目が先に技を出し、大島に指導が与えられます。中盤場外際で内股に入りますが、共に一回転してポイントには至りません。終盤に相手が挽回しようとしてきたところを大内刈で有効を奪いますが取り消しとなり、試合はそのまま指導差で志々目に軍配が上がり、初優勝を遂げました。

負けられない戦いの中、全般的に慎重な試合振りとなった志々目ですが、接戦をものにしてこれまで届かなかった優勝を勝ち取りました。



| | | | | | |
|-----|-------|---|------------|--|------------|
| 1回戦 | 志々目 徹 | ○ | 優勢勝 (GS有効) | | 田中 (筑波大学) |
| 準決勝 | 〃 | ○ | 優勢勝 (指導1) | | 永山 (東海大学) |
| 決勝 | 〃 | ○ | 優勢勝 (指導1) | | 大島 (国士舘大学) |



73 kg級 秋本 啓之 : 初戦敗退

秋本は初戦、田村(パーク 24)と対戦し、終始秋本が先に攻め、残り一分までに相手に指導が3度与えられます。このまま押し切るかと思われたところ一瞬相手の組み手を許した場面で内股にはいられ、有効を奪われます。逆転された秋本は挽回すべく間合いを詰めますが、そこに小内刈を合わされ、無念の敗退となりました。

ほぼ秋本が試合をコントロールしていただけに、本当に悔しい敗戦となりました。

| | | | | | |
|------|-------|--|-----------|---|-------------|
| 1 回戦 | 秋本 啓之 | | 一本負 (小内刈) | ○ | 田村 (パーク 24) |
|------|-------|--|-----------|---|-------------|

52 kg級 志々目 愛 : 2 位

新入職の志々目(帝京大卒)は初戦、富沢(埼玉栄)と対戦し、指導を2度奪って準決勝に進みます。準決勝は、橋本(コマツ)を破った前田(三井住友海上)と対戦します。この試合でも志々目がペースを握り、相手に指導が与えられ、初の決勝に駒を進めます。

決勝は中村(三井住友海上)と対戦し、果敢に挑みますが、相手の組手になったところで志々目に指導が2度与えられ、初優勝にはあと一步届きませんでした。

今日は少し慎重な試合振りとなりましたが、しっかりと結果につなげられるようになってきているので、今後、頂点を目指して、共に頑張っていきたいと思います



| | | | | | |
|------|-------|---|------------|---|-------------|
| 1 回戦 | 志々目 愛 | ○ | 優勢勝 (指導 2) | | 富沢 (埼玉栄) |
| 準決勝 | 〃 | ○ | 優勢勝 (指導 1) | | 前田 (三井住友海上) |
| 決勝 | 〃 | | 優勢負 (指導 2) | ○ | 中村 (三井住友海上) |



52 kg級 西田 優香 : 3 位

西田は初戦、内尾(筑波大)と対戦し、相手に場外指導が2度与えられます。その後、間合いを詰められたところを大内刈で技有を奪われ、リードされます。試合は終盤、お互い指導1つずつ追加したのち、西田が渾身の韓国式背負投で技有を返して再逆転に成功し、苦しみながらも初戦を突破します。迎えた準決勝は宿敵・中村との対戦となりました。開始早々良いタイミングで小内巻込に入り相手を崩しますが、ポイントには至りません。その後一進一退の攻防の中、奥襟を取られた際に西田

が首を抜いたとのことで指導を受けます。中盤、相手の技を受けたのち、めくり返して有効を奪い、大きくリードします。しかしこの有効が取り消しとなります。その後、逆に2度目の指導を受け、決勝進出はなりません。

2月に肘を脱臼するという不運に見舞われ、相手の奥襟に対して間合いとることができず、背負投もほとんど使えない中でよく戦ったと思います。準決勝も有効が取り消しとならなければものにできていただけに悔しい結果となりました。

| | | | | | |
|------|-------|---|--------------|---|----------------|
| 1 回戦 | 西田 優香 | ○ | 優勢勝 (技有・背負投) | | 内尾 (筑波大学) |
| 準決勝 | 〃 | | 優勢負 (指導 2) | ○ | 中村 美里 (三井住友海上) |